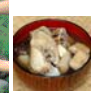
平成二十一年十月　広報委員会

おりーぶだより

今月の行事

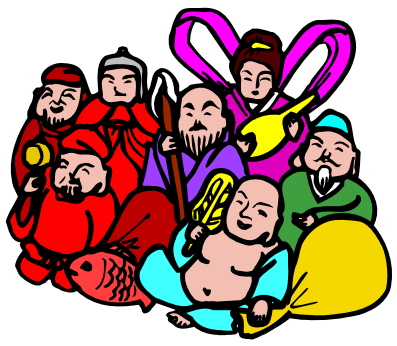
10月12日
いも煮会



恵比寿講について

十月二十日は恵比寿講です。恵比寿様は七福神の一人で商売繁盛の福神様とされていますが、鯛を釣り上げ烏帽子をかぶっているところからみても、もともとは漁民から始まった信仰ではないかと思われます。海の向こうから海岸に上がったものすべてが神霊であり、豊漁をもたらすと考えたのです。こうした考え方がだんだん陸上にも及び、農村では田の神をエビス、都市では商売の神をエビスというようになりました。

恵比寿講は、農村ではそば、ところ、小豆飯を供えます。商家では、鯛、御神酒、鏡餅、柿、栗などを供えて商売繁盛を祈願し、客を招いて酒宴を張るのが一般的とされます。



長寿祭

9月20日に入所者の方の長寿祭が行われました。書道倶楽部からは、書展に出品した方の表彰式も行われ、またオリーブ専属歌手（職員）による歌の披露、そして最後には皆様での大合唱で幕を閉じました。

新人職員 紹介
（リハビリ）

かんのゆみ
菅野由実
①O型
②読書
③いつも笑顔で頑張ります。よろしくお願いします。

質問内容
①血液型②趣味③抱負

こじまさえこ
小島沙江子
①不明
②買い物
③新人ではありますが、一生懸命学んでいきたいと思います。よろしくお願いします。

《先輩職員から一言》
これからもリハビリに対する熱い情熱を持って頑張ってもらえることを期待しています。

旬の果物を食べる

無花果（いちじく）

いちじくは、漢字では「無花果」と書きますが、花がないわけではありません。いちじくは実の中に小さな花をつけるため、外からは確認できないのです。果実の中にあるあの赤いつぶつぶしたものが花なのです。

いちじくは、血圧降下、整腸作用、滋養健胃、消化の促進などの薬用効果があります。また二日酔いにもいいようです。

当施設でも甘露煮して提供していますので、季節を感じながらおいしくいただきましょう。